

addSound

for your bike life

取り扱い説明書

お問い合わせ

商品の不具合や操作に関するお問い合わせは以下にお願いいたします。ウェブサイトお問い合わせコーナーまたはメールでのみのお問い合わせとなります。ご了承ください。ご返信には数日かかる場合がございますのでこちらも合わせて事前にご了承ください。

ウェブサイト <https://www.addsound.jp>

メールアドレス proj@addsound.jp

注意事項です。はじめにお読みください

以下の注意をよくお読みになり、ご理解の上、使用してください。

- 他通信機器に影響があるような場所でのご使用はお止めください。
- 安全のためにスマートホンのボリュームは上げすぎず、周りの音が確認できる音量に設定してください。
- **addSound** 本体を持ってヘルメットを持ち運ばないでください。本体やヘルメットに破損が生じたり、走行中に落下する危険があります。
- **addSound** 本体の分解・改造・ご自身での修理は絶対に行わないでください。防水性能が維持できなくなったり、動作不良の原因となります。
- 骨伝導タイプのスピーカーを採用しているため、ヘルメットに振動を伝える仕組み上、ヘルメットの塗膜に微細な影響を与える場合がございます。予めご了承ください。
- 再生時間は、骨伝導スピーカーの特性上、気温・音量設定状態・風の強さなどで大きく変動します。あくまで弊社仕様は参考のみとしてください。
- 運転中のご使用に関しましては、事前に各自治体の法律条例などをよくご確認ください。
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国外でのご使用はお止めください。
- 無線機器の性質上、接続するスマートホンや音楽プレーヤー、ナビゲーションとの相性により、接続ができない、あるいは接続できても正しく動作しないことがあります。予めご了承ください。
- お客様の誤ったお取り付けやお取り扱いが原因での事故や破損、故障は保証対象外となりますので、予めご了承ください。

01. 取り付け方法

addSound は 3M 社の強力な両面テープで固定します。正しく取り付けできていないと、音質が低下したり、場合によっては外れて落下破損の恐れがあります。必ず次に従った方法で取り付けてください。

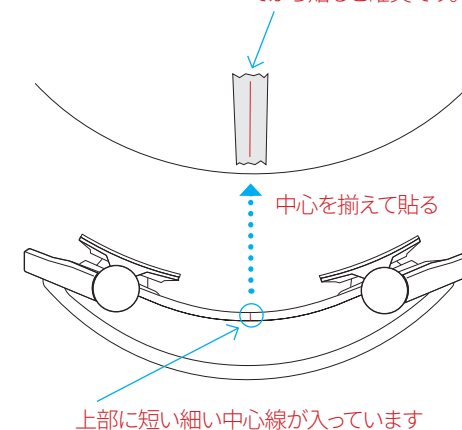
① 取付プレートを貼り付ける前に、必ずアルコールなどでヘルメット表面の脱脂を行ってください。

② **addSound** 本体を取付プレートに取り付けたまま、取付プレートの両面テープの保護シートを剥がして貼り付けます。左右の音のバランスを保つために、**addSound** はヘルメット後部の中心に取り付けてください。

③ 取付プレートを貼り付けたら、必ず **addSound** 本体を外して 24 時間放置して、その間は絶対に使用しないでください。これにより、両面テープの接着力が確実にになります。

④ **addSound** 本体両側の取付ハンドルの回転部が取付プレートの上下の突起に入って止まるように必ず目で確認してください。

ヘルメットにマスキングテープなどで中心となる目印をつけてから貼ると確実です。



02. 電源操作・スマートホン操作

addSound のボタンは本体下部の電源ボタン 1 つのみです。電源ボタンを 2 秒以上長押しをすると起動音とともに起動します。

※対応するスマートホンは Bluetooth4.2 以上を搭載する iOS・Android 機のみとなります。その他、Bluetooth を搭載する音楽プレーヤーやナビゲーションシステムは動作保証対象外となりますのでご注意ください。

初回ペアリング

ご購入後、初めて電源を入れた時は自動的にペアリングモードになります。お手持ちのスマートホンの Bluetooth 設定から「addSound-xxxx」（xxxx は 4 桁の英数字、商品ごとに異なります）を選択してペアリングしてください。一度ペアリングを行えば、以降は起動時に自動接続します。

再ペアリング

他のスマートホンに切り替えてご使用する時は、電源

オフの状態から電源ボタンを 4 秒以上長押しすることで再ペアリングモード（通信 LED が青 / 赤の交互点滅とペアリングピープ音鳴ります）になるので、再度ペアリングをしてください。

addSound の電源オフ

電源ボタンを停止音が鳴るまで 2 秒以上押ししてください。

自動電源オフ機能

これはヘルメットを脱いで机などに静置すると約 3 分後に自動的に電源が切れる機能です。スマートホンの addSound アプリを使うとこの機能をオフにすることができます。（この場合は必ずご自身で電源ボタンを使って電源オフしてください）※ヘルメットをかぶったまま、3 分間走行せずにじっとしていても自動的に電源オフになることがあります。その際は再度電源ボタンで電源を入れてください。

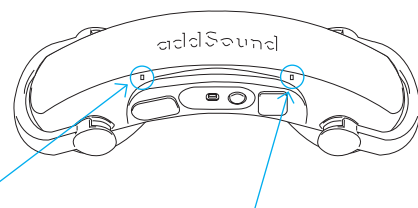
バッテリー少なくなると、1 分おきに 2 回ピープ音が鳴ります。その時は使用を停止し充電してください。

03. 充電操作

充電はスマートホン用などの USB 充電器やモバイルバッテリーと microUSB ケーブルを使って充電してください。

※ 100 円ショップなどの格安充電器・モバイルバッテリーの場合、きちんと USB 規格に基づいた電流制御ができていない商品が見受けられます。この場合、充電し過ぎによるバッテリーの破損・発火・爆発の危険がありますので、必ず携帯電話メーカーもしくはそれに準じた一般電機メーカーのものをご使用ください。約 2 時間で充電完了となります。※充電状態によっ

てはそれ以上かかる場合があります。充電が終わったら充電 LED が消灯します。直ちに microUSB ケーブルを外してください。



通信 LED (本体左側)

充電 LED (本体右側)

■赤 LED 点灯

(充電が終わると消灯)

USB からの充電中

スマートホン接続待ち ■青色 LED が 5 秒毎に 1 回点滅

スマートホン接続中 ■青色 LED が 5 秒毎に 2 回点滅

ペアリング待ち ■青 / ■赤 LED が 1 秒間隔で交互に点滅

04. タップ操作

※走行中にタップ操作を行うのは片手運転となり、大変危険です。必ず停止中に行ってください。

タップ操作とは、addSound の装着されたヘルメットを手のひらで叩くことで、様々な操作を簡単に行う機能のことです。（グーで叩くよりパーで叩いたほうが動作しやすいです）タップ操作には、1 回タップと 2 回タップがありますが、2 回タップの場合タップの間隔が早すぎると 1 回タップとして認識してしまうため、ゆっくり 2 回叩いてください。スマートホン用 addSound アプリでタップ感度を調整（3 段階）できます。タップ操作がうまく行かない場合は、感度を強めに調節してください。

「音楽」の再生 / 停止の操作

スマートホンと Bluetooth 接続してお好みの音楽アプリを利用することができます。ただし、初めて接続した場合はご利用のアプリで音楽再生操作をする必要があります。音楽を再生 / 停止するには、ヘルメット

の addSound の近くをポンと一回手のひらで叩いてください。タップごとに再生と停止を切り替えることができます（操作の度にピープ音が鳴ります）。叩く力や場所はヘルメット毎に異なりますので、ご使用のヘルメットで事前に強さ・位置をご確認ください。

「電話」の受話・切断の操作 ※別売マイクが必要です

音楽の再生中・停止中に関わらず、電話がかかってきた時に、1 回タップで通話できます。電話を切るときは 1 回タップしてください。（ハンズフリーのピープ音が鳴ります）また、通話拒否する場合は 2 回タップしてください。

「音声アシスタント」の操作 ※別売マイクが必要です

音楽の再生中・停止中に関わらず、2 回タップでスマートホンの音声アシスタント（Siri, Google アシスタント）を起動できます。追加の音声入力再度 2 回タップしてください。また、音声アシスタントを止める場合は 1 回タップしてください。

05. 自動音量調節機能

音量調整は addSound がすべて自動で行いますので、操作は必要ありません。例えば、信号待ちなど停止中は音量は小さく、走行中は速度に合わせて音量が大きくなります。

addSound の自動音量調整はスマートホン自体の音量調整とは独立して機能します。お好みの音量にするには、まず停止時に周りの音が聞こえる程度の音

量にしてください。走り始めて音量が上がったときに音量が大きすぎる場合はスマートホン自体の音量を下げて適切な音量になるように調整してください。また、スマートホン用 addSound アプリを使うと、自動音量変化が 3 段階で調整できます。お好みで変更してください。

06. 防水機能

addSound は IPx5 相当の防水機能を持っています。通常の雨天時でのご利用が可能です（台風など強雨の際はご利用はお止めください）。ただし、USB キャップ・マイクキャップが外れている時は防水機能の保証ができません。ご使用時には必ずこれらキャップがきちんとはまっているかご確認ください。

※別売マイクを使用する時は必ず簡易防滴アダプターを取付けて下さい。また悪天候時にはご使用はお止めください。